

ハロー

みず みち みどり

令和4年10月
vol.59

KENDO

けんど

西宮市
芦屋市
尼崎市



目次

「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づく高潮対策	2
新川水門、新川・東川統合排水機場の整備	3
東川水系津門川地下貯留管整備事業	4
武庫川の治水対策工事	5
兵庫東流域下水汚泥広域処理場整備事業—汚泥有効利用施設整備—	5
「尼崎21世紀の森構想」策定から20年を迎えて尼崎の森中央緑地での取り組み	6
令和5年度からトイレが生まれ変わります 甲山森林公園	7
information	8



南芦屋浜南護岸



新川水門



汚泥有効利用施設 イメージ図



武庫川低水護岸



津門川地下貯留管シールドマシン



尼崎の森中央緑地 イメージ図

「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づく 高潮対策

尼崎港管理事務所 高潮対策推進課



平成30年台風第21号による浸水被害の発生を受け、「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づき高潮対策を進めています。平成30年に浸水した範囲の緊急対策は今年度末の完成を目指しています。主な対策は防潮堤の高上げ工事です。

「兵庫県高潮対策10箇年計画の概要」



- 期間** | 令和元年度～令和10年度
- 対策箇所** | ① 平成30年台風第21号の浸水箇所
② 高潮・津波対策事業を実施中の箇所
③ 防潮堤等の高さが大きく不足(概ね50cm以上)する一連区間のうち、背後に住家や工場・企業が集積する箇所
- 対策延長** | 51.3km(うち阪神地域は33.7km 全体の約2/3)

整備状況

完成箇所



① 丸島東護岸(尼崎市)



② 鳴尾浜東護岸(西宮市)



③ 甲子園浜東護岸(西宮市)



④ 南芦屋浜南護岸(芦屋市)



⑤ 丸島西護岸(尼崎市)



⑥ 鳴尾浜東護岸(西宮市)



⑦ 甲子園浜西防潮堤(西宮市)



⑧ 南芦屋浜北護岸(芦屋市)



⑨ 新川水門、新川・東川統合排水機場(西宮市)

新川水門、新川・東川統合排水機場の整備

尼崎港管理事務所 河川整備課



西宮市の南部を流れる新川と東川の河口部では、想定される最大クラスの津波(レベル2津波)による浸水被害を軽減するため、新たな水門と防潮堤、統合排水機場の整備を進めています。

特に統合排水機場は、高潮発生時の浸水被害を軽減するため、老朽化した2つの排水機場を1つに統合して、排水能力を60m³/sから111m³/sと約2倍に増強しています。

整備箇所 (新川と東川の河口部)



レベル2津波の浸水想定区域

対策前 浸水面積:419ha

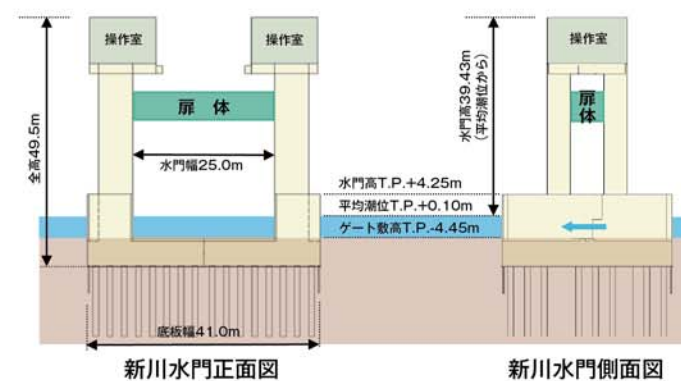


浸水面積を9割縮小

対策後 浸水面積:37ha



I 新川水門



扉体を下げた水門(令和4年5月撮影)

- ・水門は、令和3年12月に完成しました
- ・平常時は、船が水門を行き来するため扉体は上がったままとなっています
- ・水門の高さは、船のマスト等が扉体に当たらずに通れる高さを確保しています

II 新川・東川統合排水機場及び防潮堤



統合排水機場(南側) 完成予想図

統合排水機場の概要

- ・統合排水機場は、令和8年度末に完成予定です
- ・ポンプ形式は、ディーゼルエンジンの縦軸斜流ポンプを4台設置します

排水能力は、今の約2倍の
111m³/sとなります

東川水系津門川 地下貯留管整備事業

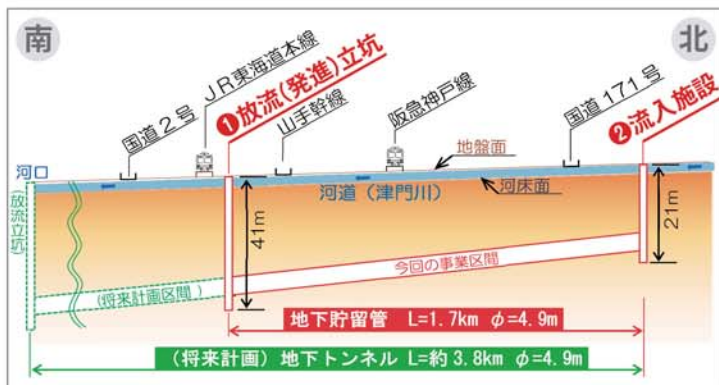
西宮土木事務所 河川砂防課



【事業概要】

東川水系津門川は、西宮市中央部を南北に貫流して東川に合流する延長約3.5kmの二級河川で、周辺は阪急西宮北口駅をはじめ、高度に都市機能が集積し、JR東海道本線、国道2号等の重要交通網が東西に横切っています。沿川では、過去から豪雨により浸水被害が度々発生しているため、県では周辺住民の命や暮らし、経済活動等への被害を軽減する対策として、地下河川(シールド方式)整備を進めています。現在、JR東海道本線より北側の約1.7kmの上流区間の地下貯留管を先行整備しています。

《地下貯留管の整備区域図》



【工事の進捗状況】

①放流(発進)立坑

掘削が完了し、シールドマシン掘削の準備をしています。



放流立坑 (シールドマシン仮組立)

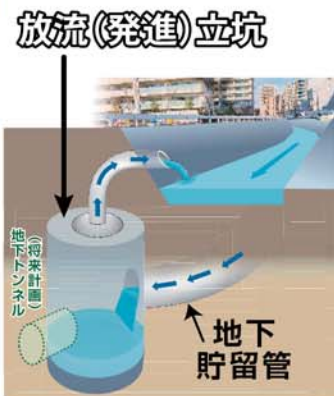
②流入施設

令和4年8月より門戸仁川線(市道)の一部通行止めを実施し、準備工事に着手しています。

【施設の紹介】

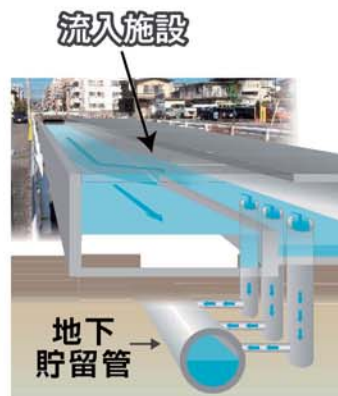
①放流(発進)立坑

西宮市神祇官町の神祇官南公園につくる深さ約41mの立坑は、地下貯留管を掘削するためのシールドマシン等の資機材搬入や、工事完成後は貯留管に貯まった雨水を津門川本川に放流するための施設です。



②流入施設

西宮市門戸荘地区につくる流入施設は、津門川本川が一定の水位を超えると水が地下貯留管に落ちていく構造の施設です。



【おわりに】

異常気象による集中豪雨が頻発しており、大規模な浸水被害がいつ発生するかわかりません。地域の治水安全度の向上のためには必要不可欠な事業ですので、周辺住民の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



武庫川の治水対策工事

西宮土木事務所 武庫川事業課

武庫川下流部築堤区間は、河川沿いの地域が高度に市街化しており、ひとたび堤防が決壊し、氾濫するとその被害は、全国10位と甚大な被害が想定されています。

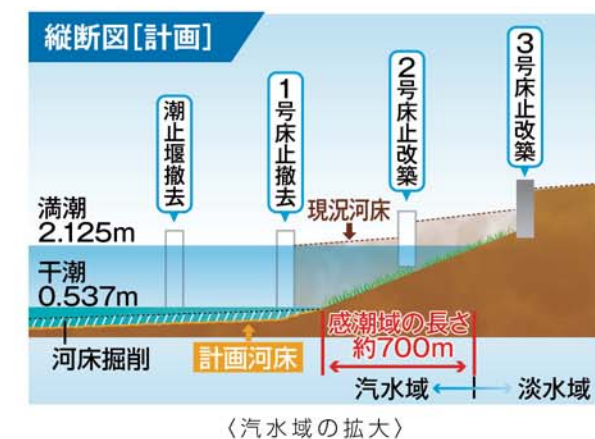
このため、県では、平成23年に策定した「武庫川水系河川整備計画」に基づき、昭和36年6月の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流すことを目標として、洪水が流れる断面を広げるための河床掘削や護岸工事などを進めています。近年の豪雨被害を踏まえ、令和3年度には、事業区間(河口からJR東海道本線 約L=5.0km)で全面的に工事を展開するなど、事業の加速化を図っており、令和4年度も、同様に工事を進めています。

下流部築堤区間は、コンクリート護岸が多い単調な空間となっているため、武庫川で採取した石材を活用したり、床止魚道を整備して魚類の移動に配慮するなど、景観や環境の課題改善に努めています。



【南武橋架替工事】

また、潮止堰の撤去により、汽水域が拡大し、新たな環境が創出されます。生物多様性の回復、水とふれあえる場の確保など魅力のある水辺の創出に取り組んでいます。



兵庫東流域下水汚泥広域処理場整備事業 —汚泥有効利用施設整備—

西宮土木事務所 流域下水道第1課

1 概要

下水道の普及が進んだ阪神地域では、人口約150万人分の大量の下水汚泥(約7,500m³/日)が発生します。それを処理しているのは、武庫川の最下流(尼崎市平左衛門町)にある兵庫東流域下水汚泥広域処理場です。

2 事業の特徴

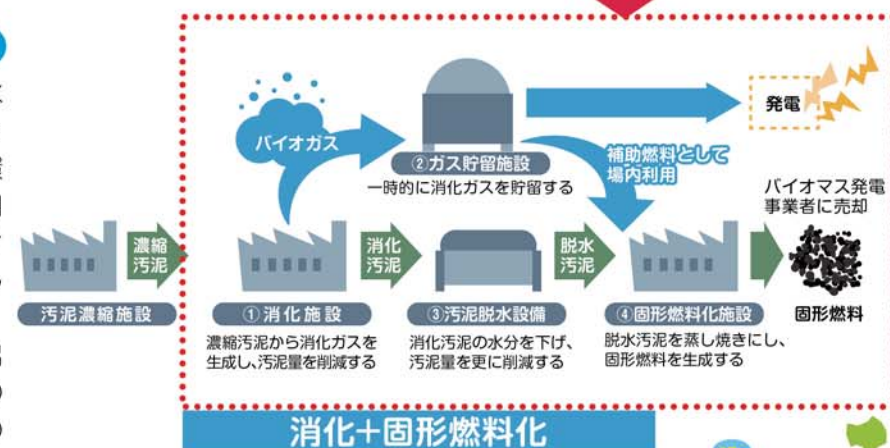
現在の汚泥処理方式は「濃縮→脱水→焼却→埋立処分」ですが、古くなった焼却炉の更新時期に合わせて、循環型社会にふさわしい汚泥を有効活用できる処理方式「濃縮→消化(バイオガス)→脱水→固形燃料化」を採用しました。

これにより、①エネルギーの創出(消化ガス発電、固形燃料)、②CO₂の削減、③産業廃棄物(焼却灰)処分量の低減に貢献します。

■現在の方式



■更新後の方式



「尼崎21世紀の森構想」策定から20年を迎えて 尼崎の森中央緑地での取り組み

尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室



尼崎臨海地域は、重化学工業を中心に、日本の産業経済をリードしてきましたが、近代化の過程においてかけがえない自然を失うとともに、公害の発生など環境面での課題を抱えています。また、近年の産業構造の変化等により工場等の遊休地が発生するなど、地域の活力が低下し、その再生が急務になっています。

このような状況を踏まえて、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりをめざして、兵庫県では「尼崎21世紀の森構想」を平成14年3月に策定しました。

1 尼崎21世紀の森構想の背景



尼崎の森構想と尼崎の森中央緑地の位置

平成14年(2002年)【尼崎21世紀の森構想】策定

「森と水と人とが共生する環境創造のまち」をテーマに自然と地域活力の再生を目指す100年の森づくり構想

先導的拠点地区として
尼崎の森中央緑地を先行的に整備



2 尼崎の森中央緑地でのこれまでの取り組み (尼崎21世紀の森構想 拠点地区)

生物多様性(郷土固有種)に基づいた100年の都市再生の森づくり



「地域が育てる森」づくり

近隣企業や団体などの参画と協働による種付けや苗木の植樹

令和3年度末で
10万本を超えました!

「地域を育てる森」づくり

地域の小学生に環境体験学習としての森づくりや里山体験

3 尼崎の森中央緑地の森の成長記録



4 尼崎の森中央緑地でのこれからの取り組み(尼崎21世紀の森構想 拠点地区)

森の成長に応じて、人々が**自然の恵み**を享受できるよう、「**親しみのある明るい森の確保**」「**生物多様性(郷土種)を育て学ぶ森**」「**都会の森の豊かさと楽しさを感じる場づくり**」を意識して持続的に森づくりを推進します。



尼崎の森中央緑地を北側からパノラマ俯瞰撮影(2022.1月)

令和5年度からトイレが生まれ変わります 甲山森林公園 西宮土木事務所 河川砂防課



トイレリニューアル工事①～⑧
(令和5年3月末完成予定)

今年9月からトイレのリニューアル工事に着手しました。この工事では、主に内装をリニューアルし、和式トイレからきれいな洋式トイレへと生まれ変わります。(8号トイレは、和式トイレを洋式のトイレにする工事のみとなります。)

“モダニズムクイズ巡礼” デジタルスタンプラリー

阪神間モダニズムの魅力を発信するため、「デジタルスタンプラリー“モダニズムクイズ巡礼”」を12月11日まで開催中です。

阪神間モダニズムを象徴する建築物や主要駅(阪神「西宮」「芦屋」駅)等のスタンプスポットを、スマートフォンを使ってクイズを解きながら巡るスタンプラリーです。

クイズを解いてスタンプを集めて応募すると、公共交通グッズなど素敵な景品が抽選で当たります。



2022年12月11日(日)まで開催

モダニズムクイズ巡礼のサイトは、こちら▶



参加は、電車・バスなど環境に優しい公共交通機関をご利用ください。



主催：阪神間連携ブランド発信協議会(阪神南県民センター、西宮市、芦屋市、阪神電気鉄道株)

～西宮土木事務所・尼崎港管理事務所のSDGsの取り組みについて。～

兵庫県では、令和4年度から本格的にSDGsの取り組みを始めました。

西宮土木事務所と尼崎港管理事務所では、SDGsの取り組みを紹介するポスターを作成し、事務所や工事現場等に掲示しています。

西宮土木事務所は SDGsに取り組んでいます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Action1 歩行者、自転車の快適な通行空間の確保に向けた、通学路安全対策や自転車道通行空間整備に取り組んでいます

Action2 武庫川、津門川等の総合治水対策や六甲山系での土砂災害対策に取り組んでいます

Action3 社会経済活動を支える幹線道路の4車線化や道路ネットワークの構築に取り組んでいます

Action4 下水道や公園施設の更新・維持管理を計画的に行い、自然環境の保全や再生に取り組んでいます

Action5 県・市・県民が協働して、“街路樹リノベーション”や“ひようごアドプト”、“技術プラットフォーム”の取り組みを推進しています

尼崎港管理事務所は SDGsに取り組んでいます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Action1 新川・東川や尼崎市東海岸町等で南海トラフ地震等に備える地震・津波対策に取り組んでいます

Action2 南芦屋浜や甲子園浜等で台風災害等に備える高潮対策に取り組んでいます

Action3 地域経済を牽引する企業が円滑に立地できるよう、フェニックス事業用地の整備に取り組んでいます

Action4 自然環境の保全と再生を推進し、尼崎21世紀の森づくりに取り組んでいます

Action5 水や緑にふれあえる魅力ある親水空間の創出を推進し、21世紀の尼崎運河再生プロジェクトに取り組んでいます